



人の移動に伴う空間構成要素の変化特性とアイストップの整備効果  
—空間構成要素の抽出と人の移動に伴う変化特性—

## 背景

- ・景観整備に対しての効率的な手法の必要性。
- ・アイストップの整備効果は十分に明らかとはいえない。



## 目的

- ・人の移動によって空間構成要素がどのように変化するかを明らかにする。
- ・変化特性からアイストップとなる空間構成要素を導き出す。

# 研究のフロー

研究対象敷地の選定

空間構成要素の抽出・分類

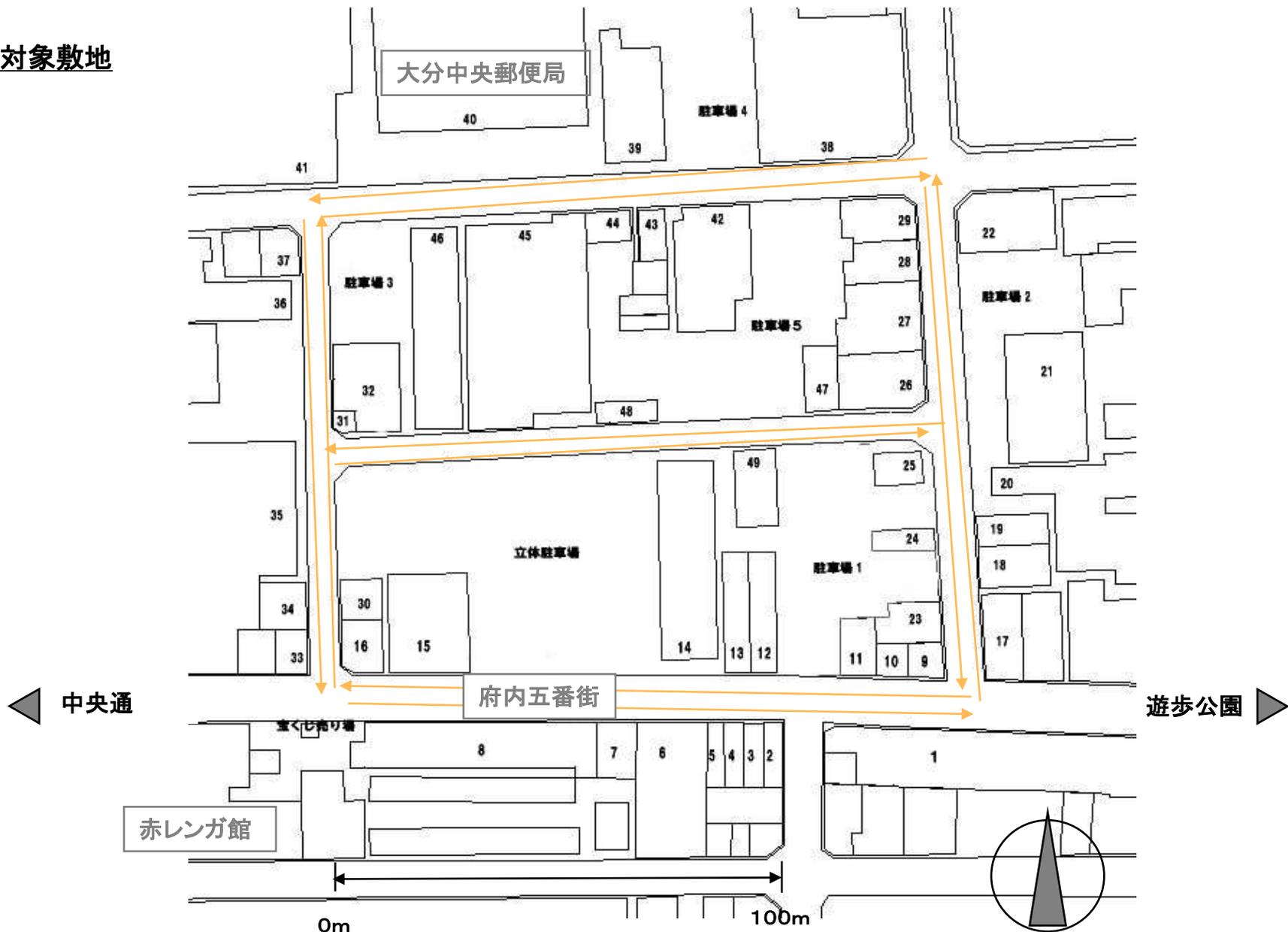


人の移動に伴う変化特性の把握

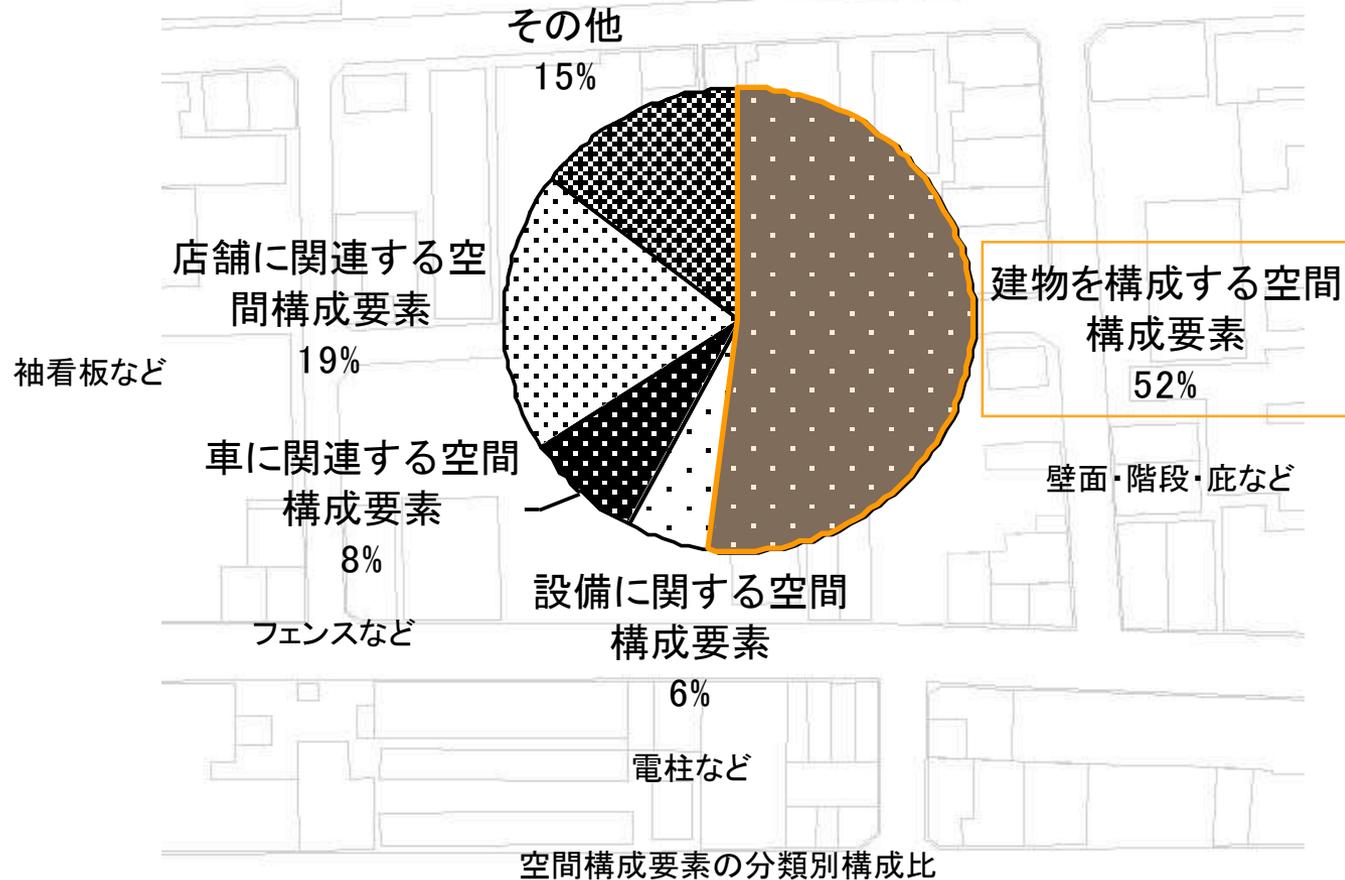
アイストップの特定

# ■ 研究対象敷地

## 研究対象敷地



## ■空間構成要素の抽出—空間構成要素の分類別構成比



研究対象敷地が中心市街地であるため「**建物を構成する空間要素**」が**52%**と半数以上であることが分かる。

## ■人の移動に伴う空間構成要素の変化特性

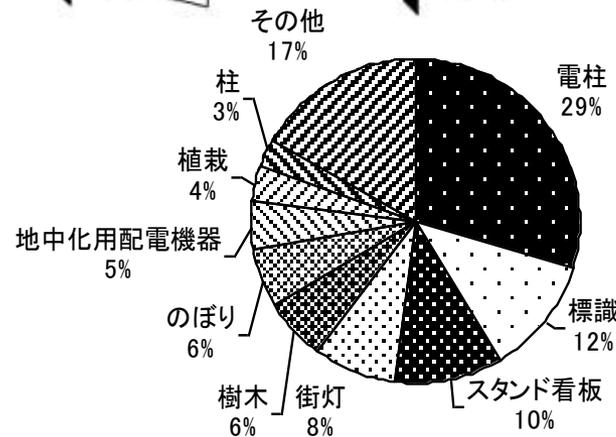
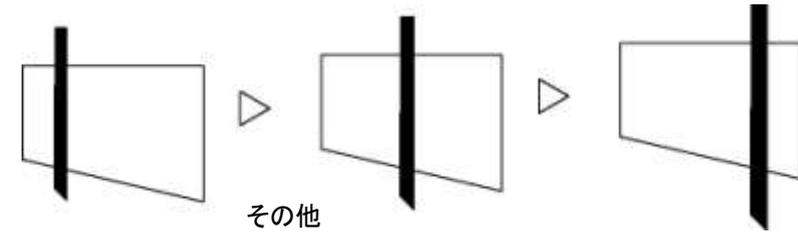
人の移動に伴う空間構成要素の変化特性を明らかにするために、ビデオカメラを知覚者の視野として想定し撮影を行った。



「分解」「消失」「遮蔽」「横断」「出現」「静定」「自由変化」「安定」

### 横断

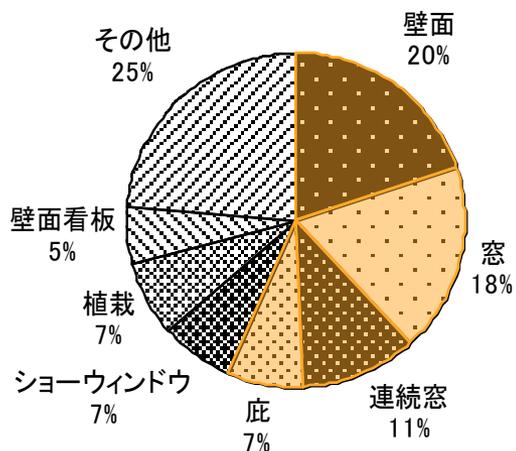
人の移動に伴い空間構成要素が他の空間構成要素を横切る状態



建物からは独立して存在する空間構成要素にみられる特性

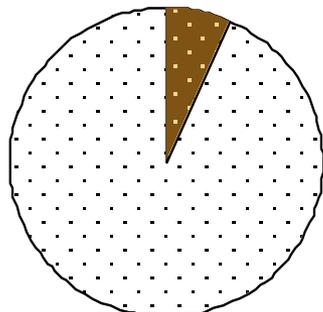
## ■人の移動に伴う空間構成要素の変化特性—安定(アイストップ)—

安定を示す空間構成要素をアイストップとなる空間構成要素として定義する



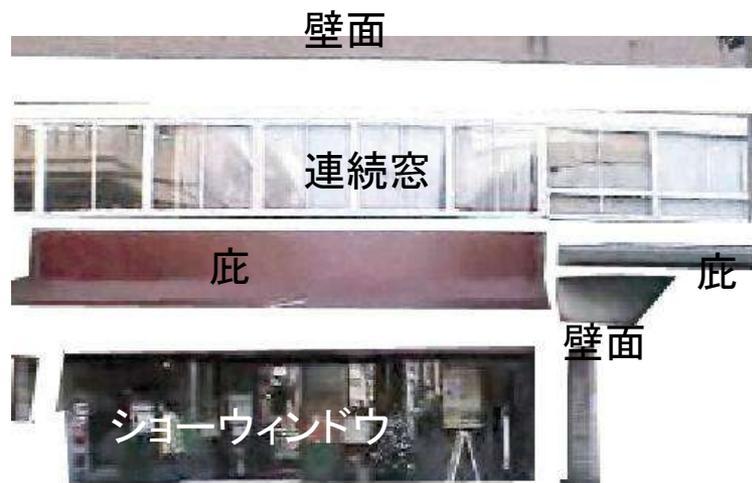
抽出した空間構成要素に対するアイストップとなる空間構成要素の割合

アイストップとなる  
空間構成要素  
7%



その他の空間構成要素  
93%

抽出した空間構成要素に対するアイストップとなる空間構成要素の割合



アイストップとなる空間構成要素の大半が「建物を構成する空間要素」である。

アイストップとなる空間構成要素数は全体の7%となる。

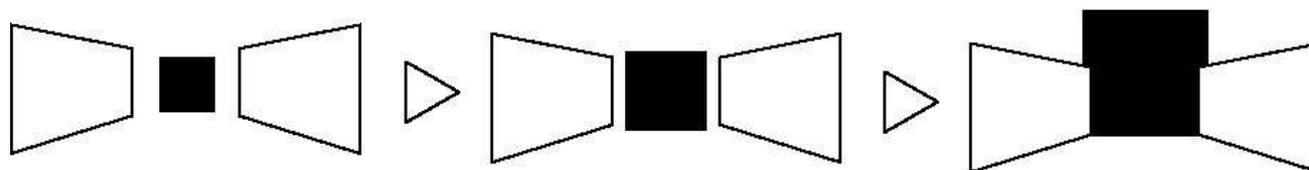
## ■まとめ

・研究対象敷地内の空間構成要素を抽出し、空間構成要素数・空間構成要素の種類を明らかにした。

・変化特性の観点から、「安定」を示す空間構成要素をアイストップと定義し、本研究におけるアイストップとなる空間構成要素を導き出した。

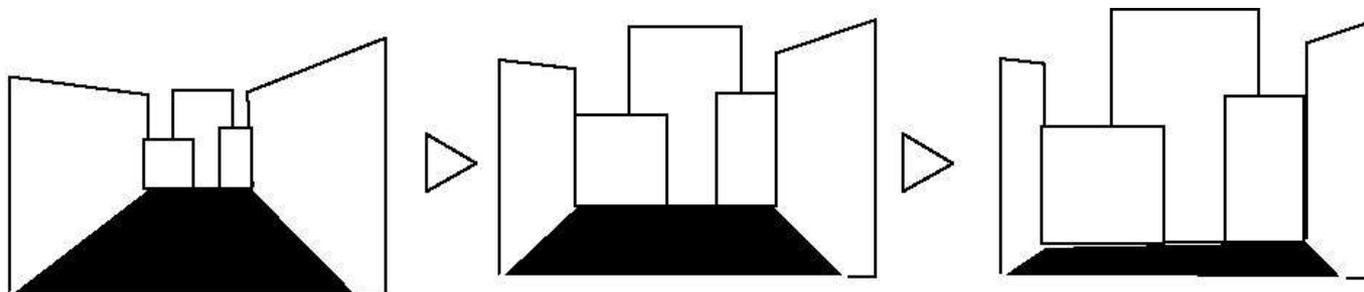
## 安定

人が移動をしても視野内の空間構成要素が安定して見える状態。



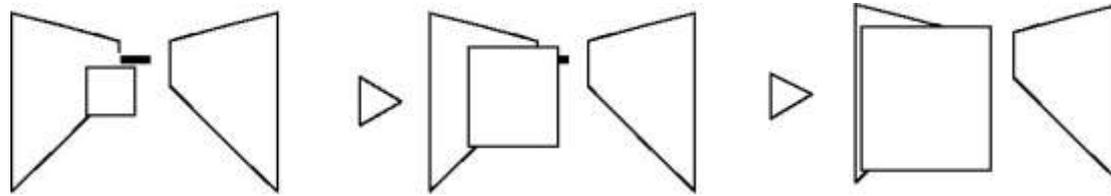
## 静定

空間構成要素が常に存在して見える。



「地面」・「空」の空間構成要素が示す特性

## 遮蔽



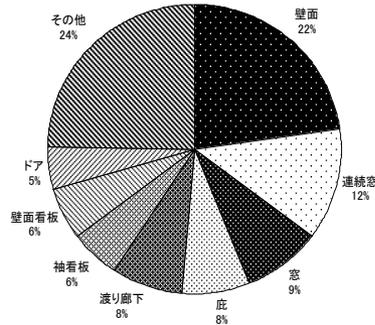
空間構成要素が他の空間構成要素に遮蔽され見えなくなる状態



本研究対象敷地では見られなかったが、他の変化特性との関係から今回定義を行った。

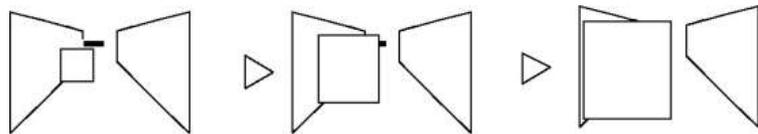
## 人の移動に伴う空間構成要素の変化特性

### 分解



主な空間構成要素:「壁面」「連続窓」  
「庇」「樹木」「植栽」が前に存在し分解されるため、研究対象敷地では建物を構成する要素にみられる特性である。

### 遮蔽



極めて少なく、主な空間構成要素といえるものは存在しない。

## □人の移動に伴う空間構成要素の変化特性一定義—

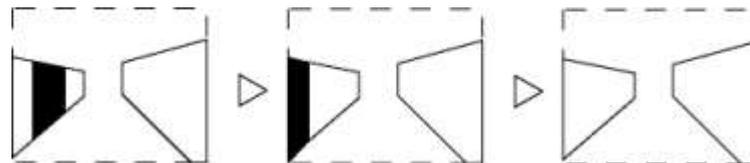
本研究ではデジタルビデオカメラにより得られる範囲(地面からレンズまでの高さ1.6m・26mm)を知覚者の視野として想定し、人の移動に伴う空間構成要素の変化特性を明らかにする。

### 分解



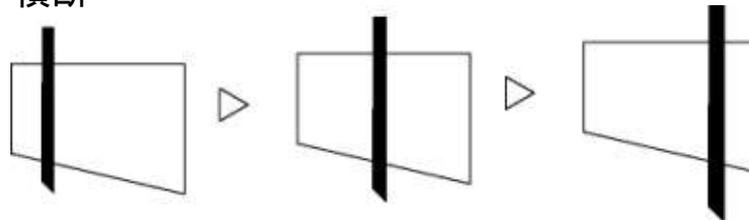
空間構成要素が分解されながら見える状態

### 消失



人の移動に伴い視野内に存在していた空間構成要素が消える状態

### 横断



人の移動に伴い空間構成要素が他の空間構成要素を横切る状態

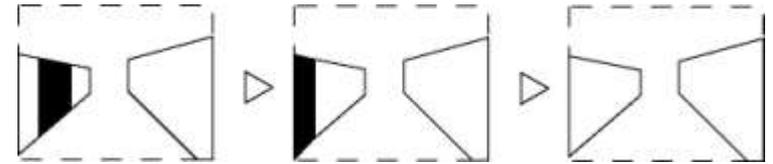
## □人の移動に伴う空間構成要素の変化特性一定義一

本研究ではデジタルビデオカメラにより得られる範囲(地面からレンズまでの高さ1.6m・26mm)を知覚者の視野として想定し、人の移動に伴う空間構成要素の変化特性を明らかにする。



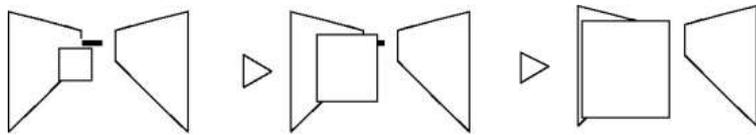
空間構成要素が分解されながら見える状態

消失



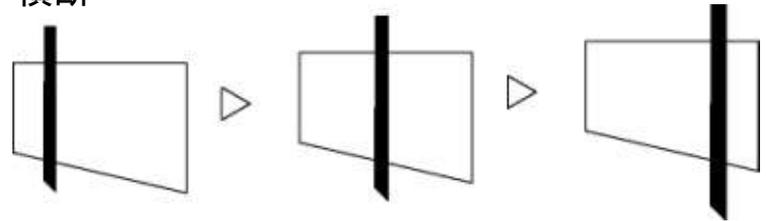
人の移動に伴い視野内に存在していた空間構成要素が消える状態

遮蔽



空間構成要素が他の空間構成要素に遮蔽され見えなくなる状態

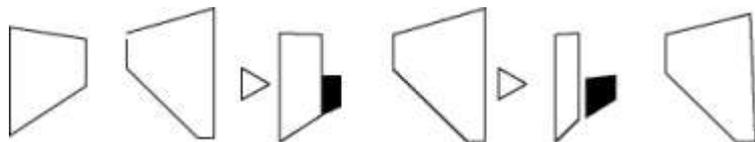
横断



人の移動に伴い空間構成要素が他の空間構成要素を横切る状態

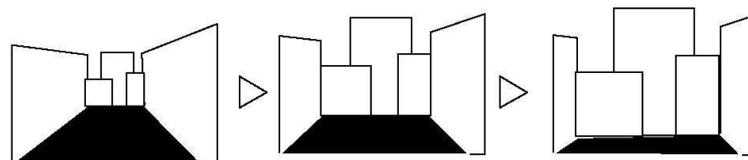
## □人の移動に伴う空間構成要素の変化特性一定義一

### 出現



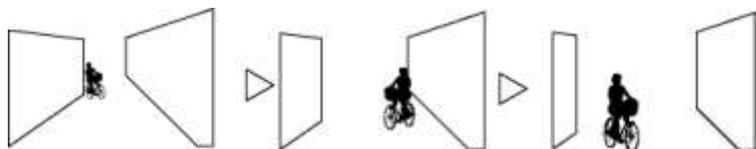
他の構成要素により遮蔽されていて見えなかった空間構成要素が見えてくる(現れる)状態。

### 静定



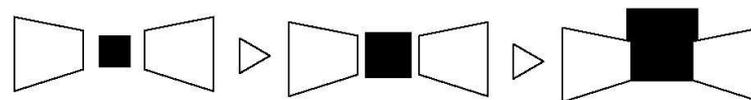
空間構成要素が常に存在して見える。

### 自由変化



空間構成要素が自由(不規則)に変化して見える状態。

### 安定



人が移動をしても視野内の空間構成要素が安定して見える状態。

本研究では「安定」の変化特性の空間構成要素をアイストップとして定義する